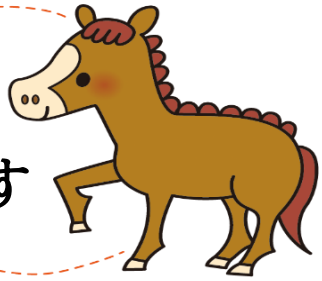
園だより号外

社会福祉法人 養秀福祉会
ことのねほいくえん
2026.1.1(水)発刊

新年明けまして
おめでとうございます



理事長・園長作

理事長挨拶

新年明けましておめでとうございます。
私は小学校３年までは「栄信」と呼ばれ、童名は「信ちゃん」でした。　２年前いつもの床屋に入ると先客があり、待合席に座り新聞を広げていました。　整髪を終えた先客が僕の横に立ち止まり「イャーヤ　シンチャン　アラニ？」…(君は信ちゃんではないか？)と声をかけられビックリ仰天!!　この歳になって自分の童名を耳にするとは、なんと奇遇なことか・・顔を見上げると思わず声が出た。「アイエー　カンムラノ　ニニ」…(あっ　神村の兄貴)　僕の幼馴染の兄さんだった。　お互いに知ってはいるものの、数何年も会ったことがないのに・・・本によると、脳細胞は二十歳前後を堺に減少していくとのことを思い出したが、髪の白くなった僕の脳は半分以上役に立たなくなっているはずだが、今年は記憶の不思議を考えてみたい。

園長挨拶

新年明けましておめでとうございます。
戦争のない沖縄の現状に感謝しつつ、今年は次の文章をお手本にして１年間健康を願いつつ頑張ります。
毎日園児たちの笑顔に励まされながら過ごしてまいります。

Facebookより抜粋

友達は多くても少なくてもいい
本音を話せる人がいるなら
年収は高くても低くてもいい
幸せに過ごせるなら
家は広くても狭くてもいい
自分に合っているなら
モノを増やしても減らしてもいい
大切なものがわかっているなら
頭が良くても悪くもいい
まわりを喜ばせられるなら
性格は明るくても暗くてもいい
個性の一つだから
化粧は厚くても薄くてもいい
自分の魅力が伝わるなら
子どもは褒めても叱ってもいい
愛情が伝わっているなら
夢は小さくても大きくてもいい
叶えられるなら
人生は短くてもながくてもいい
本当に後悔をしないのなら